



## 未来を変える方程式

$$FMn \equiv FLKMchain(\text{mod } 9)$$

神聖比例を生じるフトマニ数列群は、法を9とするモジュラー算術で処理すると、全てが24項で循環する4つの数の流れであるFLKM系列のいずれかと合同になる。

### 1) フトマニ数列群:FMn

「二つを足して次の間に置く」というアルゴリズムは、古来日本の「フトマニ」に隠されています。フィボナッチ数列はその中の特殊例に過ぎません。これらの神聖比例を生じる数列は無限に存在するのでフトマニ数列群と名付けました。

### 2) フィボナッチ数列 【1,1,2,3,5,8,13,21,34,55,89,144,233、、、】

$$F_n = F_{(n-2)} + F_{(n-1)} \quad F_1=1, F_{(n+1)}=1, n \geq 2$$

例、 $233/144 \doteq 1.618 \doteq \Phi = \text{神聖比例(黄金比)}$

### 3) 法を9とするモジュラー算術:(mod 9)

ある数を任意数で割った余りの数に置き換えてしまう算法で、一般的には剰余算、時計算、合同計算と言われています。法を9とするモジュラー算術のケースは古代のひふみ算やカバラ算にも見られ、すべての数が0から9の一桁で表わされます。

### 4) 4つの数の流れ:FLKMchain

F系列(フィボナッチ系列) 【0,1,1,2,3,5,8,4,3,7,1,8; 0,8,8,7,6,4,1,5,6,2,8,1】

L系列(ルカ系列) 【0,2,2,4,6,1,7,8,6,5,2,7; 0,7,7,5,3,8,2,1,3,4,7,2】

K系列(ケン系列) 【0,3,3,6,9,6,6,3,0,3,3,6; 0,6,6,3,9,3,3,6,0,6,6,3】

M系列(ミチコ系列) 【0,4,4,8,3,2,5,7,3,1,4,5; 0,5,5,1,6,7,4,2,6,8,5,4】